

## 神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

<項目>

第9章 個別の疾病対策等

第1節 感染症

とりまとめ担当課：健康医療局保健医療部健康危機管理課

### 1 課題に対するこれまでの取組実績

<p>(1) 感染症対策</p> <ul style="list-style-type: none"><li>→ 政府の行動計画に基づき、「神奈川県新型インフルエンザ等対策行動計画」を作成し、県内の対策の総合的推進及び、措置等を規定した。（平成 25 年 8 月）</li><li>→ 政府の行動計画改定に基づき、「神奈川県新型インフルエンザ等対策行動計画」を改定した。（平成 30 年 3 月）</li><li>→ 県内の 56 医療機関に対し、新型インフルエンザ等に係る帰国者・接触者外来の指定を行った。</li><li>→ 神奈川県新型インフルエンザ等対策行動計画において定める「神奈川県新型インフルエンザ等対策本部」について本部要綱を作成した。（平成 27 年 1 月）</li><li>→ 新型インフルエンザが県内で発生した場合に備えて、新型インフルエンザ等対策本部訓練、情報伝達訓練及び実動訓練を実施した。</li><li>→ 新型インフルエンザが発生した場合に備えて、特定接種等、予防接種体制の取組みを進めた。</li><li>→ 「神奈川県感染症予防計画」を改正した。（平成 29 年 3 月）</li><li>→ 蚊媒介感染症ガイドラインを改正した。（平成 28 年 8 月）</li><li>→ 蚊媒介感染症対策のため、蚊の生息調査を行いホームページに結果を掲載する等、県民へ調査結果と予防対策の周知を行った。</li></ul>
<p>(2) エイズ対策</p> <ul style="list-style-type: none"><li>→ NPOと協働し、セクシュアルマイノリティを対象とした HIV 検査を実施した。</li><li>→ 医療従事者や訪問介護事業者等を対象として研修を実施した。</li><li>→ 高齢 HIV 感染者の診療や受入れに関する講演を行った。</li><li>→ 中学生・高校生を対象に、性感染症の講演会を行った。</li></ul>
<p>(3) 結核対策</p> <ul style="list-style-type: none"><li>→ 私立学校や社会福祉施設等に対し定期の健康診断にあたっての補助を行った。</li><li>→ 服薬支援について、患者に直接面会を図るとともに、登録患者全員を対象として実施するよう神奈川県服薬支援事業実施要綱の改正を行った。（平成 26 年 3 月）</li><li>→ 服薬支援に関する結核患者支援手引きを作成した。（平成 27 年 3 月）</li><li>→ 医療従事者や保健師等に対する研修を実施し、医療機関との連携や対応の充実を図った。</li></ul>

(4) 予防接種の推進

→ 風しん非常事態宣言

<概要>

- ・平成 25 年 4 月 16 日定例会見で知事が「風しん非常事態」を宣言、市町村へ補助金の活用による風しん予防接種費用の助成について、積極的な検討をするようお願いをした。
- ・県の呼びかけ等により、県内全市町村が風しん予防接種費用の助成を行い、県は当該費用の 3 分の 1 の補助を行った。

→ 風しん撲滅作戦（平成 26 年度～）

<概要>

- ・平成 25 年 12 月 26 日定例会見で知事が「風しん撲滅作戦」を発表、2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向け、「神奈川県から風しんの流行を発生させない」「今後妊娠する人から先天性風しん症候群を出さない」ことを目指し、予防接種の必要性を訴える広報戦略の展開、市町村が行う予防接種費用の助成に対する補助の継続、国庫補助による無料の風しん抗体検査、企業への風しん予防の働きかけ等を行った。
- ・風しん予防啓発動画の作成、イベント会場や企業で風しん抗体価調査を実施し、広く風しん予防啓発を図った。

(5) 神奈川版ACIPの設置

→ 神奈川県予防接種研究会の設置

- ・平成 25 年 9 月 9 日、神奈川県予防接種研究会の設置について記者発表を行った。

→ 神奈川県予防接種研究会における審議

回数	開催日	議題等
第 1 回	平成 25 年 9 月 11 日	今後の研究会の協議事項について等
第 2 回	平成 25 年 11 月 20 日	風しん・麻しん対策について等
第 3 回	平成 26 年 8 月 5 日	予防接種制度における被害者救済制度のあり方について等
第 4 回	平成 27 年 1 月 28 日	予防接種健康被害救済制度のあり方について等
第 5 回	平成 27 年 5 月 29 日	予防接種健康被害救済制度のあり方について等
第 6 回	平成 28 年 3 月 28 日	予防接種健康被害救済制度のあり方について等
第 7 回	平成 28 年 8 月 24 日	予防接種健康被害救済制度のあり方について等
第 8 回	平成 30 年 1 月 10 日	予防接種を取り巻く環境の変化に対応するための今後の対応案について等。

2 参考指標の推移

取組 区分	指標 区分	指標名	単位	神奈川県内					備考
				H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	

### 3 課題ごとの進捗状況の評価

#### (1) 感染症対策

評価	(A) ・ B ・ C ・ D
評価分析	「神奈川県新型インフルエンザ等対策行動計画」及び「同対策本部要綱」の作成、またそれに基づく各種訓練の実施等により、感染症対策を進めることができた。
評価理由	関係機関との連携した危機管理体制の整備について、課題解決に向けて順調に進捗している。
第7次計画 (H30～H35) での取組の 方向性	P181 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型インフルエンザ等の発生に備え、国、市町村、医療機関など関係機関と連携した体制の整備を図る。</li> <li>・ 県は、平常時から蚊の生息調査を行い、県民に対して蚊媒介感染症の予防対策等について情報提供を行い、蚊媒介感染症の患者発生時には、疫学行動の調査や遺伝子検査等の発生動向調査を強化する。</li> </ul>

#### (2) エイズ対策

評価	A ・ (B) ・ C ・ D
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ セクシュアルマイノリティに配慮した HIV 検査を実施できた。</li> <li>・ 中高生の性感染症についての理解を深め予防啓発に繋げることができた。</li> <li>・ 高齢 HIV 感染者の診療や受入れに関する講演を行い、医療・介護従事者の理解を深めることができた。</li> </ul>
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ セクシュアルマイノリティを対象とした検査は試験段階であるものの、狙い通りの効果を得ることが出来るなど課題解決に向け比較的順調に進捗している。</li> <li>・ 訪問医療介護事業者を対象とした実地研修を継続的に実施した。</li> </ul>
第7次計画 (H30～H35) での取組の 方向性	P181 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県は、教育機関との連携による中・高・大学生や、ハイリスク者である男性同性愛者への予防啓発活動を行っていく。ハイリスクの男性同性愛者が気軽に検査を受けられる体制として、検査当日に結果が判明する即日検査や休日検査を効果的に実施する。</li> <li>・ 高齢化するHIV感染者やエイズ患者に必要な医療や介護の支援が提供されるよう、県は、医療機関や介護福祉施設等との連携を強化していく。</li> </ul>

#### (3) 結核対策

評価	A ・ (B) ・ C ・ D
評価分析	接触者健診や補助を利用した健康診断による発病の恐れがある者の発見を通して、早期に医療機関受診へ繋げることができた。また、医療従事者に対して早期診断に向けた意識づけを行うことができた。
評価理由	平成26年以降の県全体での新規登録者数は、若干ではあるものの毎年減少が認められるなど、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。また、医療従事者研修

	についても、多くの関係者が参加しており、結核の早期診断に関する意識の高まりを見ることができる。
第7次計画 (H30～H35) での取組の 方向性	<p>P181</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県は、県民や医療従事者に対する普及啓発や、学校や施設が行う定期健康診断の実施を促進するとともに、患者の接触者に対する健康診断を強化することで、患者の早期発見、早期治療を推進し、二次感染や集団感染の防止に努める。</li> <li>・ 県は、医療機関や薬局等との連携により、治療中断者を早期に発見し、受診勧奨及び服薬継続支援などの保健指導を行うことで、多剤耐性結核の発生、まん延防止を図っていく。</li> </ul>

#### (4) 予防接種の推進

評価	(A) ・ B ・ C ・ D
評価分析	平成30年3月末現在、県内の風しん患者発生報告数は大幅に減少しており、先天性風しん症候群患者報告数はゼロとなっている。
評価理由	風しん予防接種費用助成の効果等により、風しんの流行は沈静化している。
第7次計画 (H30～H35) での取組の 方向性	<p>P181</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予防接種は、小児結核の減少に大きく寄与するBCGを含め、感染症に対する抵抗力を増すために重要なものであるため、接種率の向上とVPD (Vaccine Preventable Diseases : ワクチン接種により防ぎ得る病気) 予防推進のため、県は、ワクチンに関する正しい知識の普及及び接種の啓発・勧奨に努めていく。</li> </ul>

#### (5) 神奈川版ACIPの設置

評価	(A) ・ B ・ C ・ D
評価分析	神奈川版ACIPとして予防接種研究会を設置し定期的な開催により予防接種健康被害救済制度のあり方、予防接種を取り巻く環境の変化に対応するための今後の対応等について議論された。
評価理由	予防接種健康被害救済制度のあり方に関する議論の結果、神奈川県への提言として最終報告書にまとめ、一定の成果が出せた。
第7次計画 (H30～H35) での取組の 方向性	記載無し

#### 4 総合評価

評価	評価理由
A	感染症の課題については、いずれについても、課題解決に向けて順調に進捗している。